

生活習慣病予防に係る特定健康診査・特定保健指導のアウトソース推進に向けて(概要版)

2006年4月18日
日本経済団体連合会

日本経済団体連合会では平成17年9月にヘルスケア産業部会を発足させ、国民の健康増進に資するヘルスケア産業の発展に向け、検討活動を進めて来た。今般の医療制度改革関連法案において生活習慣病対策が医療費適正化の推進方策の一つに位置づけられたことを踏まえ、生活習慣病対策における民間活力の活用促進を目指した要望を取りまとめ、厚生労働省に提出した。

要望の主な論点

○生活習慣病対策に関する成果目標の設定

⇒健診・事後指導により抑制する医療費の額について、例えば5年毎に具体的な成果目標を掲げるべきである。

○健診・事後指導実施体制の整備

⇒保険者の自助努力を前提とした上で、国による支援措置やインセンティブ措置の拡大等、実施体制の整備が必要である。

○アウトソース先の能力・信頼性等に関する評価基準の整備

⇒評価基準はあくまでも生活習慣病予防と直結した成果に着目して設定すると共に、基準の早急な公表を行う。
⇒基準検討段階における民間事業者からの意見聴取を実施するとともに、施設や資格に関わる基準が過重にならないようにする。

○40歳未満を対象とした生活習慣病対策における企業と健保組合の連携推進

⇒労働安全衛生法のみで健診が義務づけられている従業員等への健康管理についても、企業と健保組合の連携を積極的に推進するべきである。

○生活習慣病予防の重要性に関する国民・保険者への啓発

⇒内臓脂肪症候群に関する平易な広報資料の作成と企業広告への引用の推進、優良事業者表彰制度の設立。

ヘルスケア産業部会について

部会の目的：

国民に信頼されるヘルスケア産業の発展に向けた環境整備、知識等の普及による国民への啓発を推進することで、国民の健康増進ならびに国民医療費の抑制に貢献する。

活動方針：

- ・医療費上昇の主要因たる生活習慣病の予防に焦点を当てる。
- ・医療構造改革等の行政施策との連携を深め、ヘルスケア産業基盤の醸成を図る。

部会長：

赤星 慶一郎 (オムロンヘルスケア(株)社長)

主要参加企業：

味の素、花王、コナミスポーツ&ライフ、日立製作所、三菱電機、ルネサンス 等